

デジタルアーカイブ in 高山

～ 飛騨高山匠の技とところ ～

主催：岐阜女子大学
後援：高山市・高山市教育委員会 飛騨・世界生活文化センター

日時：平成30年2月4日(日) 13:30～17:00
会場：飛騨・世界生活文化センター

プログラム

13:30-14:40

飛騨高山匠の技とところ
田中 彰 先生 (市史編纂委員)

14:40-15:10

飛騨高山匠の技デジタルアーカイブ
久世 均 先生 (岐阜女子大学)

15:20-15:50

飛騨の匠 ～止利仏師生誕の地～
安達 康重 先生 (郷土史家)

15:50-16:30

「飛騨匠の技・ところと現在」
岡田 賛三 先生 (飛騨産業株式会社)

※16:30～ 「ミュージアム飛騨」見学(無料)

受講料：無 料

定 員：100名

<参加申込み>

この用紙をご記入いただき **FAX : 058-229-2222** までお申し込みください。
岐阜女子大学アーカイブ専修のホームページURL : <http://www.gijodai.jp/jyouthou/> の
「デジタルアーカイブin高山」のページからもお申し込みいただけます。



ふりがな 氏名		所属	
住所	〒		
電話番号		E-mail	



岐阜女子大学 文化創造学部アーカイブ専修 URL <http://www.gijodai.ac.jp/>

〒500-2592 岐阜市太郎丸80番地 Tel(058)229-5619 Fax(058)229-2222 (担当：林)

本学のプライバシーポリシーは<http://www.gijodai.jp/about/privacypolicy.html>に記載されています。

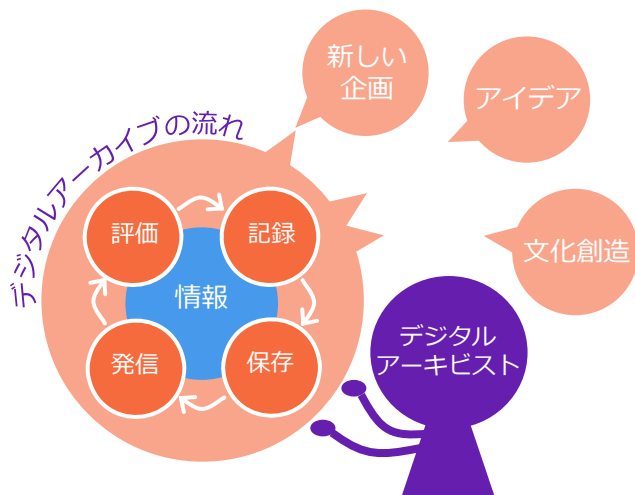
飛騨高山匠とデジタルアーカイブ

飛騨高山匠の技の歴史は古く、古代の律令制度下では、匠丁（木工技術者）として徴用され、多くの神社仏閣の建立に関わり、平城京・平安京の造営においても活躍したと伝えられています。

「デジタルアーカイブ in 高山 ～飛騨高山匠の技とところ～」では、飛騨国の誇るクリエイター集団「飛騨高山匠」をテーマに、その伝承について、郷土史研究、デジタルアーカイブ、産業界、それぞれの立場からのアプローチで紐解きます。

また、新たな知を創造する「知的創造サイクル」を応用した、飛騨高山匠の技に関する総合的なデジタルアーカイブをご紹介します。

デジタルアーカイブ、デジタルアーキビスト…ってなに??



■ 「デジタルアーカイブ」は、

価値ある資料を役立てるため、さまざまなデジタルデータに案内情報〔メタデータ〕をつけて保存・伝承し、国内・世界の利用者に発信し、資料の提示や知的生産に利用できる知識基盤社会を構成します。

高度情報社会では、デジタルアーカイブの活用により、新たな企画やアイデア、文化を創造することができるようになります。

■ 「デジタルアーキビスト」とは、

さまざまなデジタルアーカイブを企画・開発・運用を行うための知識と技術をもった人材です。

デジタルアーキビストは、情報の収集・管理・発信のプロフェッショナルとしてさまざまな分野で広く活躍できます。

法整備によりニーズ高まるデジタルアーカイブ

平成29年4月に、首相官邸ホームページから「我が国におけるデジタルアーカイブ推進の方向性」（内閣府知的財産推進事務局）が公開されました。デジタルアーカイブは、図書館・博物館をはじめ、企業や観光、自治体など、様々なところで活躍されること、そのための人材の確保と育成が必要であることが示されました。

また、デジタルアーカイブ学会では、デジタルアーカイブ振興基本法などの法整備への政策提言を積極的に行おうとしています。今後、ますます国・県・市町村・図書館・博物館・企業等では、デジタルアーカイブを行える人材であるデジタルアーキビストが必要とされます。

岐阜女子大学は、平成30年4月 デジタルアーカイブ専攻を新設し、デジタルアーキビストの養成機関として、充実・発展を目指します。